

第5次地域福祉活動計画推進委員会(第1回) 会議の概要

〈日 時〉平成29年7月28日(金) 13時30分～15時30分

〈場 所〉市社協 第2会議室(市立総合福祉会館2階)

事務局長あいさつの後、次第に沿って進行した。

1 第5次地域福祉活動計画推進委員会の設置

(1) 委員の委嘱

事務局から、平成29年6月1日施行の地域福祉活動計画推進委員会設置要綱(以下「要綱」)第3条第1項及び第2項に基づき、委嘱状の机上交付をもって略式により委員の委嘱を行った。

(2) 委員長・副委員長の選出

事務局から、要綱第5条第1項に基づき、委員長は委員の互選により選出することを説明し、諮ったところ、出席委員から、臼井委員が委員長に推薦された。この意見に基づき臼井委員を委員長とすることについて諮った結果、異議なく承認された。

つづいて、要綱第5条第2項に基づき、委員長から、副委員長の指名があり、佐野委員を副委員長とすることで決定した。

要綱第6条第1項の規定に基づき、以後の進行は臼井委員長が議長となり会議が進められた。

2 地域福祉活動計画及び第4次地域福祉活動計画の概要

3 第5次地域福祉活動計画策定の基本方針と計画期間 等

資料に基づき事務局から、一括で説明した。

説明後、委員長から出席委員に意見・質問等を求めたところ、次の発言があった。

(委員)

地域福祉計画について、最近あまり聞かないが、今もあるのか。

(委員長)

横須賀市では、平成22年度までの地域福祉計画を策定していたが、その後休止していた。また30年度から計画を策定する方向で検討していると聞いている。市では介護保険と障害の計画が本年度策定予定でもあり、活動計画とも連動させ検討されるものと思われる。一体的策定というのは県内でも60%くらい行われており特別なことではないが、市社協の地域福祉活

動計画をフォローアップするような地域福祉計画が望ましい。

少し地域福祉のあり方について補足すると、考え方としては、住民が行政の補完をするのではなく、市民や、市民の活動を支えるのが行政で、先に行政ありきではない。どのように住みよいまちづくりをしていくかという中で、市民自らができることは自分たちで行い、それで足りない部分を行政や法人が補っていくものという考え方のほうが正しい。

また、話はそれるが、津久井やまゆり園での事件があり、その際感じたのが、障害関係の施設が地域に開かれていないということである。横須賀市では、高齢の施設だと、施設が集まって、職員の成果の発表会等が行われるなど、地域に向けて発信しているが、障害の施設ではそうしたことがまだ少ない。自分の施設で重度としている障害者が、他の施設ではどうかというようなことがわかる外に向けた取り組みがなく、施設の閉鎖的な状況がある。市社協としても、こうした施設と地域の関わりということについて、考えて欲しいと思っている。

4 第5次地域福祉活動計画策定への取り組み

(1) 第5次への更新事項の抽出(例)及び意見聴取

資料に基づき事務局から説明した。

説明後、委員長から出席委員に意見・質問等を求めたところ、次の発言があった。

(委員)

地区懇談会は地区社協を中心としたものだが、1町内会とある。これはどこか。この町内会で行ったように、声を聞くところを、もっと増やして、広い範囲、分野で聞き取りを行う必要があるのではないか。

(事務局)

町内会は、田戸親睦会となっている。

(事務局)

地区懇談会は、出席者の関係もあり、生活や地域福祉活動、高齢という分野の意見や課題は多く聞けるが、子どもや、障害、施設等といった分野の意見は少ない。

1次から3次までは各分野に出向いてヒアリングを行っており、基本的な部分はそれを引き継いでいると考えているが、出来れば不足している分野に関しては、この委員会は、各分野から代表して委員に出てきていただいているので、この場で、ご意見をいただいて、補足していきたい。

(委員)

計画として出している以上何らかの評価を毎年度していると思うが、市社協として、18地区のやれたところ、やれなかったところを1年1年見て、どのように評価して、どのように対策をうってきたか。そうした棚卸はしているか。課題に対処できた地区や、活動ができた地区、反面そうでなかった地区もあるだろうと思うが、そこをどう分析して、どう指導したのかということまで示す必要があるのではないかと考える。具体の結果が無いのは寂しい。

(委員長)

市社協と地区社協は、市社協が地区社協に指揮命令するような関係ではなく、集って協議し、合意形成しながら進めていくものと考え。

4次計画は、計画と言っているが、行政計画のような評価や達成目標というものとは馴染まないつくりになっている。

ただ、ご指摘のとおり、今後に向け、自主点検できるような仕組みを考え、盛り込んでいく検討は必要だと思う。

(委員)

検証は必要だろうと思うが、4次計画の策定をしている時にも、同じような議論があり、計画とだけ銘打ってしまうと、一般的な計画のイメージと違うところがあるため、サブタイトルとして活動マニュアルとしたことを思い出した。

5次へ取り込む地区懇談会で聞き取ったもののなかで、前向きに生活できている方の事例があったが、そういった視点は、とても大事だと思う。反面、前向きな生活ができる人というのは、自分から、地域と関わりを持ち、参加できる人だとも思うので、課題は、そうでない人に、どう一歩踏み出せるように働きかけるかということであり、手を差し伸べる人づくりが、重要と言える。

65歳まで働けるようになり、担い手不足が深刻になるという話もあったが、担い手不足を、どう解消するかがポイントで、学生も含めた、幅広い担い手を確保できる仕組みの検討が必要だと考える。

(委員長)

人材の確保は、専門職も含めて、危機的な状況にある。若い人にも、どう関わってもらえるか検討していく必要がある。

(委員)

地域福祉活動計画は、あくまでヒントでいいと考える。

一概に地区社協といっても、規模に大きな違いがあり、地域性もある。地区によって、できること、できないことがあるので、自分の地区で、取り組めるものは取り組むといった地区の自主性にまかせたうえで、市社協が活動を支援するといったかたちが望ましいのではないかと考える。

(委員)

地区ごとに規模や状況が違うので、活動のマニュアル、ヒントとする考え方で良いと思う。

また、活動計画を見ると、障害の分野に関わる部分は少ないが、地域で一緒に生活していくなかでは、障害を持つ人が特別視されないということも大事なことなので、このぐらいでも良いのではないかと思う。

(2) 横須賀市社会福祉協議会発展強化計画検討事項(例)

資料に基づき事務局から説明した。

説明後、委員長から、全体を通して、出席委員に意見・質問等を求めたところ、次の発言があった。

(委員長)

今後の検討となるが、今日の議論を意識して検討を進めて欲しい。

(委員)

5次計画は、4次の計画から引継ぎ、肉付けする計画とのことだが、3次から4次計画策定のはきは、こういったプロセスをとったのか。

(事務局)

3次計画から4次計画へは、計画全体を策定し直している。

4次では、生活課題と地域福祉活動課題にわけ、それぞれに取り組み目標、活動のヒントを設けており、計画の骨子となる部分は、かなり整理された。

そうした理由から、5次計画は、4次計画の基本的な部分を、そのまま引き継ぐとしている。

(委員長)

3次の計画は、良いものではあったが、課題に対しての取り組み目標が、つながっておらず、わかりにくい部分があった。4次計画は課題から活動までを一連にしている。

今回の委員会の構成も、今までは、課題を抽出し、一から策定し直すための委員構成となっていたが、今回は課題解決を中心とする委員構成になっている。

(委員)

4回開催とのことだが、どのようなスケジュールになるのか教えて欲しい。

(事務局)

第2回は9月末から10月中旬頃に開催し、4次計画でいうところの第1章・第2章部分の原案

を提示、検討 第3章、市社協発展強化計画の第1案項目と現状と課題出しくらいまで行えればと思っている。

第3回は、12月中旬以降を目安にし、第1章、第2章部分の確定と、第3章の原案、取り組み方向、施策ぐらいまで提示し、第4回は2月初旬くらいで、最終案の検討・確定としたいと考えている。

(委員長)

次回の開催の際に、事前に資料を送ることは難しいかもしれないが、開催通知に、どのようなことを検討したいのか、どういった意見を求めたいのか、わかるようにして通知を出して欲しい。そうすれば、委員も準備することができる。

(委員)

高齢の施設関係の話を少しさせていただくと、市内では、特養の待機者が、以前は200人、300人の待機ともいわれていたが、現在は減少傾向にあるようだ。介護保険制度が変わり、軽度の方は地域でみていく方向になっている中で、施設として、どう地域を応援していくかという話が出ている。また人材不足という点では、市社協施設部会で、県社協とも協力して就職相談会を実施している。ただ、参加者はそれほど多くないので、地域の皆さんにも是非、知って欲しい。

(委員長)

県下でも、病院のベッドや、特養に空きが出始めているということがあるようだ。ニーズと施設がマッチしていない。救護施設などでは、精神障害を持った高齢者が多くなるといった状況もあるようだ。

5 第5次地域福祉活動計画推進委員会の情報公開方法について

6 その他

資料に基づき事務局から、一括で説明した。

次回開催日の日程調整を行い、10月16日(月)13時30分から開催されることとなった。
以上、推進委員会(第1回)を終了し、散会した。